

# 月刊島民

中之島

Vol.91 2016 2/1

●iPadサイズと、ほぼ同じ

橋を渡る人の「街事情」マガジン

鳥瞰図の誘惑



ナカノシマ大学

「中央公会堂  
謎解きツアー」

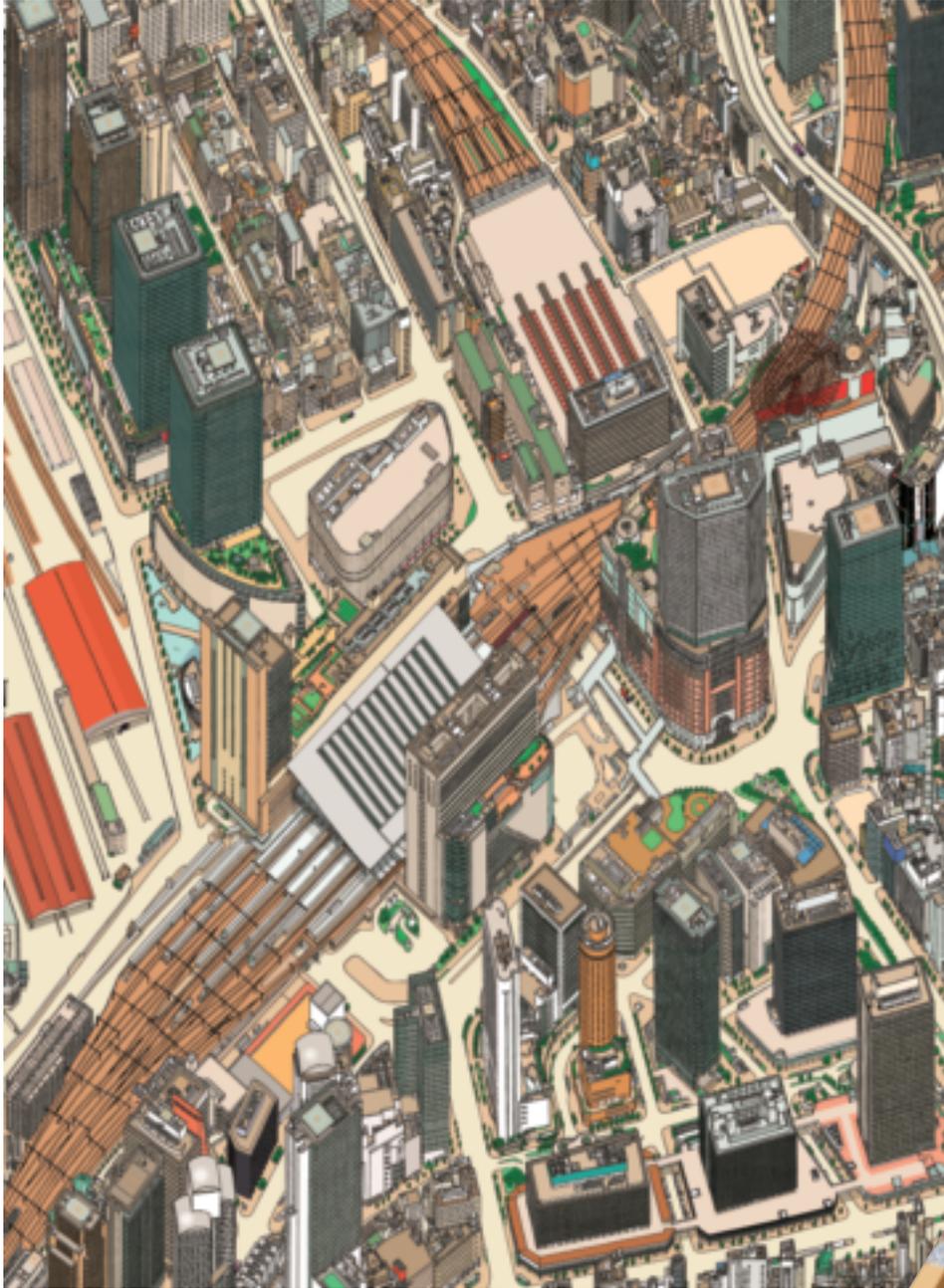
申し込み受付中!

# 平成の鳥瞰図絵師、 あまりに精緻な筆遣い。

空を飛ぶ鳥の目線で描かれる「鳥瞰図」。  
地図ではあるが、絵画のようでもあり、  
見飽きない魅力がある。

現代にその魅力を伝える希有な存在の一人が、  
先頃、「大阪梅田鳥瞰図」を出版した青山大介さんだ。

取材文／松本創（本誌）



## 「大阪梅田鳥瞰図 2013」青山大介 (2015年・くとうてん)

劇的に変化し続ける梅田の風景を2013年5月時点で捉えた青山さんの最新作。大阪・神戸などの大型書店で販売中。B2サイズ(515×728mm 折り目なし)。2,200円。「数年先に改訂のチャンスがあれば描き直したい」と本人談。これを利用した包装紙やブックカバー、ポストカードなどのグッズ展開はできないものが(月刊島民編集部希望です)。問い合わせ ☎078-335-5965(くとうてん)

青山さんは1976年、神戸市生まれ。高校時代に故・石原正の作品と出会い、都市鳥瞰図の魅力に開眼。現在、日本でも5人程度しかいない鳥瞰図絵師として活動する。主な作品に「神戸旧居留地鳥瞰図2006」「港町神戸鳥瞰図2008」など。



## 変容する都市を鳥の眼で描く。

大阪の玄関口に林立する新旧のビル群。画面はほぼ中央に位置するJRと阪急、2つのターミナル駅。大阪駅のホームには大屋根がかかり、阪急百貨店は高層に建て替わった。この10年、いや現在もダイナミックに変容し続ける梅田の全景を「大阪梅田鳥瞰図2013」は見せてくれる。青山大介さんが、生まれ育った神戸以外の都市に初めて挑んだ作品だ。

「僕が一番なじみのある梅田は、会社員当時に通勤や仕事でよく歩いた1994年から2001年頃。その後の10数年で再開発によって街は大きく変化していますし、今後も劇的に変わっていくでしょう。その過程の一瞬を捉えて描いておきたかったんです」

2013年5月、ヘリコプターで上空を飛んだ日から制作スタート。数十分の飛行の間に1000枚以上の写真を撮り、地上では入り組む道の一本まで隈なく歩いた。建物の階数や窓の数まですべて把握



港好き・船好きの青山さんの仕事場は、神戸の波止場にある、かつては上屋だった建物。ここで黙々と作業に没頭する。



青山さんがヘリから撮ったカットの一枚。飛行機の航路との関係上、飛行時間は短い。短時間であらゆる角度から写真を撮りまくるという。

石原作品はいつもそばにある。写真は「大阪絵図 天満橋中心」(1984年)。大阪から出発し、ニューヨークの摩天楼までたどり着いた不世出の絵師だった。



してから白地図の上に一棟一棟ペンで描き込み、最後はパソコンで色塗り。完成まで2年半。と、ひと口に言うが、気の遠くなる忍耐と集中の作業である。「こればかりやってたわけじゃないんですが、東西800m、南北1kmというある程度まとまった範囲を決して手は抜かず描き上げたという意味で、自作ではあります。といっても、石原正さんに比べたら、まだまだ足元にも及びませんけども……」

## 時間を超えた師弟の対話。

石原正氏(1937~2005)とは、青山さんが師と仰ぐ都市鳥瞰図の第一人者。大阪の西天満を仕事場に、梅田や大阪城、千里ニュータウンといった大阪の各地、神戸や京都や奈良、さらにはニューヨークまで、生涯に20数点の作品を遺した。

青山さんは高校時代に石原氏の「神戸絵図」に衝撃を受け、20代の頃に何度か指導を受けたものの、正式に弟子入りすることはなかった。しかし2000

5年に石原氏の死去を知り、「このままでは石原さんが確立した都市鳥瞰図が途絶えてしまう」と、本格的に鳥瞰図に取り組み始めた。つまり、進路を決定づけた運命の人なのである。

「もう絶対的な存在ですね。あそこまで精緻に、ごまかしてもデフォルメもなく都市の姿を描けるのは、世界でも石原さんしかいない。僕だっただけ近づきたいとは思っても、超えられるとは思いません」

青山さんの梅田鳥瞰図は、石原氏の「大阪梅田絵図」(1983年)からちょうど30年後を描いている。範囲はほぼ重なり、角度も同じ。定点対比によって、変化の大きさが実感できるようにになっている。

「石原さんの絵にはバラックの飲み屋街があり、今はヒルトンホテルが建つ場所は更地の駐車場。まだ昭和の戦後が残ってるんですよ。僕の絵は30年後、どんな風に見られるんでしょうね」

梅田の「今」を描き出したあまりにも精緻な鳥瞰図は、時間を超えた師弟の対話でもあるのだ。

# 百花繚乱、グレート大阪を見下ろす。

いわゆる大大阪時代を挟んだ大正から昭和にかけて、鳥瞰図が数多く描かれた。量・質ともに厚みのある作品群を見れば、豊穣な世界に思わずため息が出る。

文／本渡章



「京阪電車御案内」吉田初三郎  
(大正初期／京阪電車発行)

吉田初三郎の地図制作は、この図から始まった。江戸時代の名所絵、街道図の懐かしさをモダンな感覚の沿線案内図に再生。後の初三郎式鳥瞰図の片鱗もすで見える。表紙絵の舞妓の帯には京阪電車の社紋がデザインされ、京阪沿線の情緒たっぷり。初三郎らしい茶目っ気は、この頃から発揮されていた。



「大阪府鳥瞰図」吉田初三郎  
(1932年／大阪市立中央図書館蔵)

大阪で実施された陸軍特別大演習にちなんで、大阪府が発行。グレート大阪と呼ばれた頃の巨大化した市街と近郊都市群を周囲の海山とともに、ゆたかなスケール感で描いた。存在感ある大阪城の天守閣は、この図の発行の前年に復興されたばかり。裏面に埋める名所解説の文章も、日本を代表する大都市の誇りに満ちている。

大正の広重、鳥瞰図ブームを呼ぶ。

明治以後の怒涛の近代化がひと息つくくと、熱烈な観光ブームが列島を覆った。日本中が網の目の鉄道網で結ばれ、遠くも近くも列車に揺られてひとめぐり。新時代には新奇なメディアも現れる。吉田初三郎の鳥瞰図は、その代表格だ。初三郎は各地の新旧名所を描いて旅への憧れをかきたて、「大正の広重」とも呼ばれ、時代の寵児となった。

大阪府鳥瞰図は昭和7年（1932）作成。同年、原画が天皇大阪行幸の展覧品にもなった代表作である。ワイドな画面の中央にそびえる大阪城、足元の市街は箱庭のようで、走る電車、湾に浮かぶ船はまるでおもちゃ。背後の連山、広がる平野。眺める自分分はガリバー気分。しかも大阪の鳥瞰図と言いながら、彼方に東京、富士山が見える！ 左右の遠景を折曲げて近づける独自の技法が驚きのパノラマを生み、眼の快感を呼び覚ます。当時普及した風景写真のリアルさを超えるインパクトだ。

現地取材、スケッチ作成、資料調査を経て、助手とともに下図をおこし原画をつくり、印刷を経て完成する。現代のプロダクション・システムの先駆にもなった初三郎の工房から、千数百種の鳥瞰図が世に送り出された。

大阪府鳥瞰図は今見ても面白い。遠景も近景も、くっきり鮮明に一望できる。航空写真よりも細部が見やすく、ぬくもりもある。見えないはずの富士山が描き込まれているのも、お茶目なパノラマ・マジックとして楽しもう。地図をつくるのは人間、楽しむのも人間である。

もう一枚は、大正初期刊行の京阪電車御案内。パノラマ風の描写が初々しく、図案化された沿線案内

『大阪古地図パラダイス』  
の付録には、なんと  
『大阪府鳥瞰図』が!

本渡章さんによるナカノシマ大学の講座をベースにした『大阪古地図パラダイス』(140B/2,052円)には巻末付録として吉田初三郎の『大阪府鳥瞰図』が付いている。ちょっとサイズは小さいが、裏面の名所紹介まできっちり収められている。



『大阪市パノラマ地図』  
美濃部政治郎

(1924年/大阪くらしの今昔館蔵)

パノラマの醍醐味だけでなく、描写の緻密さも凄い。大阪暮らしの今昔館の調査によると、図中に確認された川・橋・渡しは数は455。水都の実像を伝えている。他にも湯屋318、警察署・交番283、学校177、寺社・教会420、娯楽施設68などが確認された。史料としての価値も高い図だ。数字は同館の平成18年度「研究紀要・館報」参照。



『大大阪市市勢大観』吉田豊

(1935年/大阪市立中央図書館蔵)

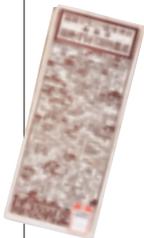
じっと眺めると、市街地からビルや施設がぼっこり浮き出て見える。題名に鳥瞰式立体図と銘打たれたのは伊達ではない。主要な建築、施設がすぐに見つかり、名称も赤枠で記載されてたいへん便利。周囲には家々の瓦屋根をデザイン化した住宅地が広がる。大都市の機能と生活の場が隣り合わせの時代が目に見えよう。



『日本全国パノラマ地図』  
清水吉康

(1922年/大阪市立中央図書館蔵)

図の題は「大阪市及堺市」。鉄道網と主な名所のわかりやすい紹介が主眼だが、市域が大幅拡張される直前の大阪の姿や、大阪港、堺港との共栄ぶりが、ひと目で理解できる構図もポイントになっている。大阪府が今のような形になる前の頃、点と線がつながり、面になって発展していく姿がここにある。



が楽しく見やすい。これが時の皇太子に褒められ、初三郎が本格的に鳥瞰図師を志すきっかけになったという。図に描かれた淀川沿いの風景の大阪側は、当時の終点・天満橋駅である。

**広がる大阪鳥瞰図の世界。**

大正期にはもう一人、大阪鳥瞰図を語るのに欠かせない人物がいる。名は美濃部政治郎。線刻銅版画の作家で多くの門人を抱えていたという以外、詳しいことはわからない。しかし、ここに掲げた大阪市のパノラマ地図はまちがいに鳥瞰図の傑作だ。

大正13年(1924)刊。道も川も橋も家も電車も公園も工場も、実に細密。なんと煙突から煙まであがっている。線刻ならではの描写力だ。政治郎は実際に街を歩き、調査を重ね、大正末期の大阪の姿をできる限り忠実に再現した。色調に統一感があるのは、瓦屋根の家並みが多かったからだろう。じっと見ていると、街区の路地に迷いこんだ気にさせられる。線刻の魔術師、パノラマ地図の魅力が凝縮された一枚だ。

大正から昭和初期にかけての鳥瞰図の大流行は、眼の楽しみのさまざまなバリエーションを生んだ。吉田豊の大大阪市市勢大観は鳥瞰式立体図と銘打たれた昭和10年(1935)刊。住宅地は平面的に、主要な建物・施設は立体的に描かれ、メリハリのきいた画面に特徴がある。

清水吉康の日本全国パノラマ地図は大正11年(1922)刊で、全15巻の中に大阪図(近畿地方パノラマ図)所収があり、遊覧・交通案内地図としての実用性に配慮したパノラマ風景が見られる。鳥瞰図師たちの活躍が、戦前の観光ブームを盛り上げた。地図の表現力が、空高くはばいた時代だった。

# 絵画と地図のあいだ。

鳥瞰図的な手法は江戸時代後半から確立されてくるが、この時代においては  
まだ絵画作品としての要素もふんだんに残しており、地図との中間的な存在だった。

文／本渡章

## 幕末の鳥人絵師、大阪を掌覽す。

江戸時代にも鳥瞰図に魅せられた絵師たちがいた。かつての大阪を描いた鳥瞰図と云えば、まずこれだ。題名は大坂名所一覽、中身は紀淡海峡、堺湊、二上山、天王山など諸国を見渡す大パノラマ。大坂市中では、大坂城に向かう大名行列の一人ひとりのいでたちまでが細かく見える。いったいどこから、こんな風景が見下ろせるのか。これを描いたのは千里眼の鳥人か。

作者の名は五雲亭貞秀<sup>ごうんていせいしゅう</sup>。文化4年（1807）、下総国布佐で生まれた。人気・実力共に当時を代表する絵師で、鳥瞰図で得意な才能を発揮した。上空から見下ろす視点で描くのは、平安時代の絵巻物をはじめ古くからある手法だが、貞秀はそれをさらに押し進め、「見たことがない風景を見たい」という人々の願望に応えた。ひとつの画面にこれでもかと見る楽しみを満載する高密度鳥瞰図が、こうして誕生した。慶応元年（1865）の大坂名所一覽は9枚続きの大作。通常の視界に収まらない超広角風景の隅々まで細密に、あるいは奔放に、技法を駆使して描き尽くした。ひたすら眼の欲望を満たそうとする鳥人の強い意志と想像力が大画面を支配している。

五雲亭貞秀はこの頃、京都、兵庫、和歌浦など関西各地の鳥瞰図を次々ともものにした。その中からもう一枚。淀川八幡山勝景は文久3年（1863）の作。



### 「淀川八幡山勝景」 五雲亭貞秀

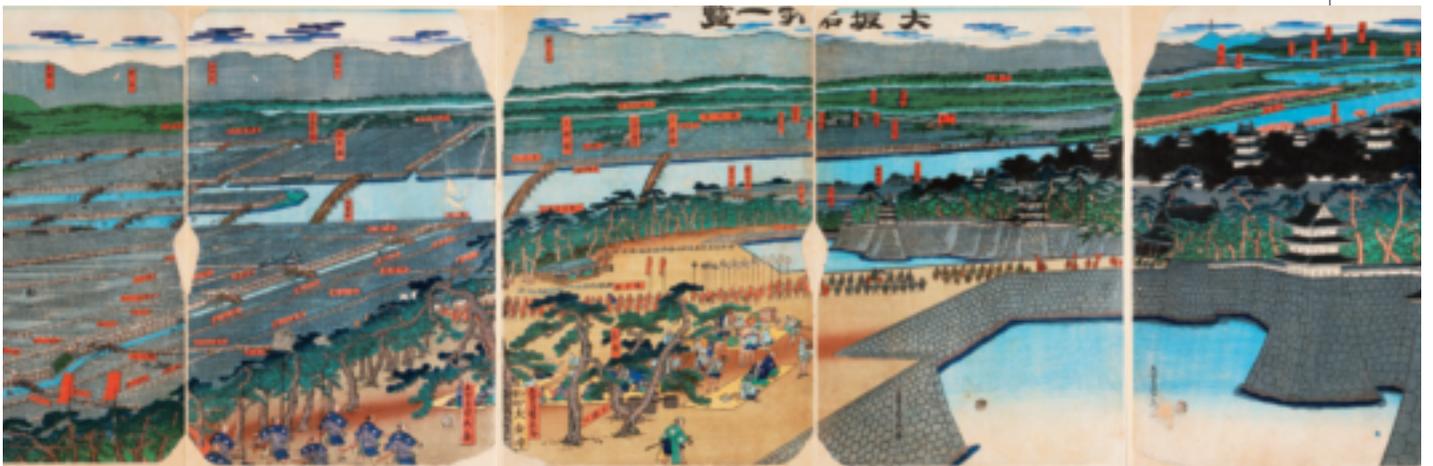
(1863年／  
大阪府立中之島図書館蔵)

水車が淀城に水を引き込むための仕掛けだったのが、図でよくわかる。画面の主役は石清水八幡宮で、小高い緑の境内地に鳥居や参道、本殿、五重塔が見えかくれしつつ姿よく配置されている。淀城と八幡宮を結ぶ橋を渡る大がかりな行列は、高貴な人物の参拝風景を描いたものだろうか。行列は貞秀のお得意のモチーフだ。

### 「大坂名所一覽」五雲亭貞秀

(1865年／大阪府立中之島図書館蔵)

図を見渡すと、流れるような市街の描線に誘われ、いつしか視線が海に向かって吸い寄せられる。画面に動きを感じるのは、そのためだ。大阪湾を目指して網の目に走る川筋も生き生きとして、超横長の大作をダイナミックに盛り上げている。地図でありながら絵画でもある鳥瞰図。貞秀の技の見せどころである。



**手軽に楽しむ  
五雲亭貞秀の傑作。  
大阪府立中之島図書館の  
「おおさかeコレクション」**

今回紹介した五雲亭貞秀の作品は、いずれも大阪府立中之島図書館のウェブサイトで公開されている「おおさかeコレクション」に収録。拡大画像や作品解説と共に楽しむことができる。  
<https://www.library.pref.osaka.jp/site/oec/index.html>



**時を超える鳥人のDNA。**

鳥瞰図の面白さは多様だ。眼のつけどころで、表現の幅が広がる。

たとえば、田能村小斎の浪華大川眺望図の決め手は、アングル。母なる大川に抱かれた天満・曾根崎の風景を、遠く北摂の山々を背景にスケール感豊かに描いた。桜咲く桜ノ宮、天満宮門前のにぎわい、人で埋まった天満橋、青物市場など、東西に連なる名所風景が際立たつ画面を可能にしたのは、常人にはない鳥人の視点である。作成は幕末から明治初期。田能村小斎が生きた時代、この図の風景が見えるはずの大坂城天守閣は存在しなかった。

田能村小斎の師、田能村直入も鳥瞰図を描く絵師で、堺の海岸線を中心に大阪の天王寺・天保山まで一望した作品を残している。技法は弟子の小斎の方が進化していて、鳥瞰図が時代を経ながら高度な表現を手に入れていったのがうかがえる。鳥人のDNAは時を超えて、新たな開花を繰り返していくのだろう。



**「浪華大川眺望図」  
田能村小斎**

(幕末～明治初期 /  
大阪歴史博物館蔵)

天満一帯は川中の大きな島である  
と理解するのに、鳥瞰図はぴったり。題  
名に大川眺望図とあるとおり、上空か  
ら眺めた大川が主題で、天神橋・天満  
橋・難波橋の三大橋が美しく映えてい  
る。背景は彼方のゆったりとした山並  
み。アクセントは大阪天満宮の屋根。  
絶妙の配置が、このアングルを発見し  
た鳥瞰図師の手柄だ。



## 「浪華大川眺望図」

# 探検! 水都の町並み ぐるっとめぐり

大阪歴史博物館 9階 / 中世近世フロア

### ジオラマ越しの飛び出すリバービュー。

エントランスから一気に上がった10階で、難波宮など大阪の古代史を学んだ来場者たち。次に向かう9階では、江戸時代の大坂が「天下の台所」と呼ばれるまでに成長した過程を追う。発達した水運のおかげで諸藩の蔵屋敷や市場に物資が集まってにぎわう模型や資料を見れば、やはり昔から大阪は水都だったのだと再認識できる。

そんな時代の街並みを20分の1まで縮小したジオラマが、フロアの真ん中に待ち構えている。奥に広がるのは、壁そのものに刷り出された「浪華大川眺望図」(P7)だ。「ジオラマは、船場を南から北に見たように作られています。『浪華大川眺望図』も方向が同じなので、奥行きを出すべくこのコーナーの背景に選ばれました。ジオラマを見る時は、奥の鳥瞰図も合わせて見てください」と、学芸員の松本百合子さん。確かにジオラマだけ、鳥瞰図だけを近寄って見るよりもスケール感が違う。単に資料を展示するだけではない、立体的に魅せるレイアウトの技を感じた。



#### 大阪歴史博物館

常設展は大人600円、高校生・大学生400円、中学生以下無料。

☎06-6946-5728 9:30AM~5:00PM(入館は閉館30分前まで)

火曜休 <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

見渡せ、見下ろせ

## 体感する鳥瞰図

取材・文 /  
江口由夏(本誌)



#### 大阪くらしの今昔館

入館料は大人600円、高校生・大学生300円、中学生以下無料。

☎06-6242-1170 10:00AM~5:00PM(入館は閉館30分前まで)

火曜・第3月曜休 <http://konjyakukan.com/index.html>

## 「大阪市パノラマ地図」

# モダン大阪 パノラマ遊覧

大阪くらしの今昔館 8階

### 足元に広がるモダン大阪の街並み。

36倍に拡大された「大阪市パノラマ地図」(P5)を見下ろす人々は、まさに鳥の気分を味わっているに違いない。近代大阪の暮らしを紹介する8階は、この地図を囲むように展示ケースが配置されており、来場者はほぼ地図の上を行き交うことになる。

大正末期から昭和初期にかけた華々しい「大大阪時代」の頃を描いたこの地図は、フロアのイメージにぴったりなばかりか、その精巧さから人々の話題の中心にもなる。「この上をじっくり歩きながら、自宅がある場所を探したり、思い出話をする人が多いんです」と谷直樹館長。「開館した15年前では最先端だった技術を駆使して画像を読み取り、色のズレを調整して見やすくしました。展示方法にヒントを得たのは、ディスコのお立ち台(笑)。暗めのフロアでも存在感が出るようこだわっています」。

家に持ち帰ってもっと隅々まで見たいと、こちらの複製地図はおみやげコーナーでも人気のだそうです。



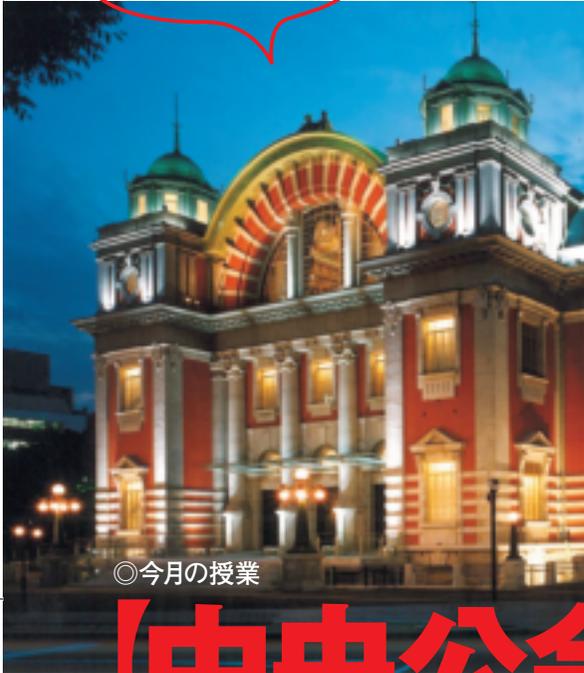
大阪市中央公会堂  
OSAKA CITY CENTRAL PUBLIC HALL



ナカノシマ大学  
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の  
懐徳堂  
プロジェクト

あの重要文化財を  
どこまで知っていますか?



◎今月の授業

# 【中央公会堂】

「サロン・ド・中之島」×ナカノシマ大学

## 「中央公会堂謎解きツアー」

案内人／大阪市中央公会堂スタッフ

開業100周年目前！中央公会堂を巡りながら、クイズに答えて、秘められた歴史を学ぼう。

大阪市中央公会堂が、2018年11月で開業100周年を迎える。そこで、今回は中央公会堂が毎年主催するイベント「サロン・ド・中之島」とコラボし、中央公会堂をもっと深く知ることができるツアーを開催！受講者の皆さんには館内を歩き回りながら、中央公会堂が出題するクイズに挑戦してもらう。基礎知識や当日のガイドで見聞きしたことを、フル活用していただきたい。当日は特別に、館内の写真撮影もOKだ。

案内人は、普段から中央公会堂の中で働いているスタッフの方々。日々過ごすうちに内側から気づいた発見や心地の良さなど、中央公会堂が持つ歴史や意匠の解説に留まらない、中の人ならではのガイドを披露していただける。普段は一般開放されていない特別室に加え、通常のガイドツアーには組み込まれていない小集会室と中集会室をガイド付きで見学できるというのも特別感満載だ。

成績上位の「中央公会堂マニア」には、中央公会堂オリジナルグッズを贈呈します。奮ってご参加ください！



ナカノシマ大学の会場として訪れた人も多いだろう小集会室も、ガイド付きなら新発見があるはずだ。



クイズの賞品はもちろん、  
中央公会堂オリジナルグッズ。

クイズの解答率が高かった方には、オリジナルパッケージのお菓子「中之島フェアージュ」やクリアファイルをプレゼント。ほか、当日発表のレアグッズや、鋭意製作中のものも…。

募集要項	<p>「中央公会堂謎解きツアー」</p> <p>日時／2016年3月18日(金)</p> <p>①10:30AM～12:00AM頃(開場10:00AM～)</p> <p>②7:00PM～8:30PM頃(開場6:30PM～)</p> <p>会場／大阪市中央公会堂</p> <p>受講料／2,000円(お土産付き) 定員／各60名</p> <p>主催／ナカノシマ大学事務局 大阪市中央公会堂</p> <p>指定管理者サントリーバブリシティサービスグループ</p> <p>共催／大阪市</p>	<p>お名前・ご住所・電話番号・人数・講座名・希望の時間帯を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合、ハガキ、ファックスについては、人数分の必要事項を明記してください。</p> <p>〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階</p> <p>「中央公会堂×ナカノシマ大学コラボ講座」受付係 FAX.06-4799-1341</p> <p>※先着順で受付後、2月20日前後より受講票をお送りします。</p> <p>※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。</p> <p>※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。</p> <p>※当日のお車ならびに自転車でのご来場はご遠慮ください。</p>
------	---	---

ナカノシマ大学の最新情報は  
<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは  
こちら→



お問い合わせ ☎ 06-4799-1340  
(ナカノシマ大学事務局)

# 笑う落語の大阪

第二十三回 高島幸次

上方落語に最も多く登場する神社は、高津宮（高津神社）だろう。同宮の富くじをモチーフとした「高津の富」はよく知られている。その境内の茶店で若旦那と娘が互いに一日惚れる『崇徳院』も人気のネタだ。

公家に奉公したせいで難しい言葉遣いの妻が登場するのは『延陽伯』。その妻がいう「タカツガヤシロニサシケエ」とは、「高津が社に参詣」のことだ。

寝起きの狐が人間に騙される『高倉狐』も、高津宮の摂社・高倉稲荷社の狐という設定だ。

高津宮は高台に位置するため、南側に表参道の階段があり、北側と西側にも階段が付いている。『稲荷俵』は、この表参道下で客待ちしていた俵夫が、客を乗せる囁だ。

かつて西側階段の下に店を構えていた「黒焼屋」の「いもりの黒焼き」は惚れ薬として知られたが、落語「いもりの黒焼き」のモチーフにもなっている。

また、『天神山』でも、捕まえた狐を高津の黒焼屋に持って行くというセリフがある。『親子茶屋』でも、

若旦那が親旦那を黒焼屋に売り飛ばすとひどいことを言う。

この西側の階段は、江戸時代の地誌『撰陽奇観』に「世俗に去り状坂といふ。三下り半に曲がりたるゆへ也」と紹介されるほどの名所だった。何回も折れ曲がる階段だったので、離縁状（去り状）の俗称「三行半」に響かせたのだ。

『西の旅明石』でも、この階段に

## 縁切坂の下に惚れ薬屋。

ついで、「一名を縁切坂・離縁状坂ちゆなこと言うてな（中略）夫婦が手を繋いで上がると縁が切れる」と説明している。

それにしても、縁切坂の下で惚れ薬が売られていたとはなんとも皮肉な話だ。ちょうど二月天神寄席のゲストは、恋愛相談の権威でもある名越康文先生。ぜひ、このあたりの機微についてもお聞きしてみよう。

たかしまこうじ  
大阪大学招聘教授、追手門学院大学客員教授、  
大阪天満宮文化研究所研究員などを務める。

## 男女の愛情深さが面白い二月寄席。

天満天神繁昌亭では、土地を提供している大阪天満宮に敬意を表し、毎月25日の夜席を「天神寄席」と銘打ち、さまざまな企画を開催している。2月はバレンタインデーがある月にふさわしく、上方らしい男女の駆け引きや夫婦のかけ合いがテーマに。テレビ番組のコメンテーターとしても活躍する精神科医の名越康文先生が、現代人の恋愛劇にも通じる（？）落語の心理描写を読み解く。

イラスト/フジワラトモコ

●2月のお題は「夫婦」

2月25日(木)

## 「夫婦百面相」

落語/笑福亭喬介「延陽伯」

桂三ノ助「替り目」

桂坊枝「船弁慶」

玉川奈々福「浪曲」

「仙台の鬼夫婦」

露の都「戎鳥」

鼎談/臆病な男が嫌いな女

名越康文(精神科医)

高島幸次(大阪大学招聘教授)

桂春之輔

番組情報  
先文で、  
康文先生  
鋭い斬り  
切りを斬る!



露の都さんの「戎鳥」。江戸落語の「芝浜」を上方の話にアレンジされている。

## ナカノシマ大学で前売り券を買うとお得!

「天神寄席」の前売り券をナカノシマ大学で買うと、2300円で入場できます。いつものナカノシマ大学と同じく、ウエテ、ハガキ、FAXでお申し込みを受付中。

開催日/2月25日(木)

開場時間/6:30PM(開場6:00PM)/受付開始5:45PM)

受講料/2300円(通常)・前売2500円/当日3000円)

支払い方法/当日5:45PMより、繁昌亭前に仮設の「ナカノシマ大学受付」にて精算。

※予定枚数に達し次第、販売終了します。

※ナカノシマ大学で販売するチケットは前売り券のみです。当日券の販売はありません。

●申し込み方法はP9を参照してください。

●問い合わせ ☎06-4799-1340(平日10:00AM~7:00PM)

# ナカノシマニア

取材文／江口由夏(誌)

大 阪市中央公会堂から京阪電車な  
にわ橋駅へ向かう途中、土佐堀  
川をバックに建つ真新しい石碑を見つ  
けた。刻字は「合水堂」。その下には「華  
岡流外科顕彰碑」。外科とは医師のこ  
とで、華岡といえは、世界で初めて全  
身麻酔による乳がん摘出手術に成功し  
た華岡青洲。幾度も実写化された、有  
吉佐和子の『華岡青洲の妻』を思い出す。

石碑の裏側に刻まれた文言を調べる  
と、かつてこの場所に「合水堂」とい  
う塾があったらしい。青洲は故郷の紀  
州(現在の和歌山県)に学塾であり病院  
でもある「春林軒」を創り、文化13年  
(1816)に彼の末弟である華岡鹿  
城がさらに中之島に分校を設けた。今  
年は合水堂が開かれて200年に当た

る。それを記念し、鹿城の子孫や日本  
医史学会によって、昨年の4月に建立  
したばかりなのだそう。昨年は鹿城  
の亡き後に合水堂をまとめた青洲の養  
子、南洋の没後150年でもある。

医学塾といえは、土佐堀川を越えた  
場所にある適塾の名が挙がる。こちら  
は緒方洪庵が授ける蘭方医学、合水堂  
は漢方医学ということで、ご近所だっ  
た塾生たちの間には当然ライバル意識  
が芽生えた。適塾で学んだ福澤諭吉が  
著した『福翁自伝』には、「緒方塾の近

傍、中ノ島に華岡という漢医の大家が  
あって」と、そんな当時を振り返る記  
述がある。福澤はとにかく、適塾生は  
貧乏で乱暴も働くと重ねて書いており、  
かたや華岡塾生は裕福で身なりも立派  
道で出くわすと罵り合うのが常だった。  
しかし師である鹿城と洪庵は互いの医  
療技術を高く評価し、意見交換や患者  
も紹介する仲だったと言われる。  
競い合った二つの塾からは何千人も  
の優れた人物が旅立った。合水堂跡碑  
は同時に適塾の存在を思い出させ、江

## いつの間にか、 顕彰碑が増えていた。

戸時代後期の中之島が医学界の最先端  
だったことを教えてくれている。

合 水堂跡碑からほど近く、東洋陶  
磁美術館のすぐ東側には「自由  
亭跡」の碑が。日本最初の西洋料理店  
の大阪支店が、明治14年(1881)  
にこの地でオープンした証だ。やがて  
自由亭はホテルへ役割を変え、その「大  
阪ホテル」が担った。関西の迎賓館は、  
現リーガロイヤルホテルへと受け継が  
れている。  
2013年に設置されたこのパネル



壁に貼られた「自由亭跡碑」のように、これからの時代は平面  
スペースを活用した顕彰パネルがメジャーになる?

箇所

の碑やパネルが設置されているら  
しい。「自由亭跡」は比較的新しいと  
いうわけだ。「石碑を設置するため  
は、道路の占有権が深く関わってきま  
す。皆さんにお伝えしたい市内の史跡  
はリストアップされているものの、権  
利処理が追いつかない状況を打破する  
ため、2011年以降は石碑をパネル  
に変えて設置しているんです」。設置  
は区に関係なく、1年で6〜8箇所が  
選ばれる。中之島界限でも、気づけば  
ひょっこり増えているかもしれない。



「顕彰」とは、「知られざる功績を明らかにすること」。碑が立た  
なければ合水堂跡を通り過ぎてしまうところだった。

2016年2月1日発行



## 大阪水上バス「観梅ランチクルーズ」

期間／2月6日(土)～3月13日(日)予定  
 ※2月17日～18日&月曜運休  
 出航時間／12:00AM～1:20PM  
 (所要時間約80分)  
 1:40PM～2:00PM大阪城港下船  
 (アクアライナー乗船約20分)  
 料金／A:4,860円  
 B:6,480円(料理の内容により異なる)  
 乗船場／OAP(大阪アメニティパーク)港  
 申し込み／要予約・全便前日の正午まで受付  
 ※2月19日分のみ2月16日正午に受付締切  
 予約・問い合わせ／  
 大阪水上バス・ひまわり予約センター  
 ☎06-6942-6699(9:00AM～5:00PM)

## 「盆梅と盆石展」

期間／2月11日(木・祝)～3月13日(日)  
 入場時間／9:30AM～4:00PM  
 ※夜間拝観日の2月26日(金)と  
 2月28日(日)は～7:30PM  
 拝観料／大人500円

◎その他、梅まつり期間中の催しについての  
 問い合わせは大阪天満宮社務所まで  
 ☎06-6353-0025



人生に着目。現存する手紙や  
 数々の名作を生み出したその  
 彼が52歳の時に大坂へ転居し、  
 の福井県)の武家出身だった  
 衛門。講演では、越前(現在の  
 上町台地に墓がある近松門左  
 島界隈の橋も登場する。実は、

2月から3月にかけては梅  
 が見頃となる季節。中之島界  
 隈の観梅イベントといえば、  
 まずは大阪水上バスの「観梅  
 ランチクルーズ」だ。グルメ・  
 ミュージック船「ひまわり」  
 で帝国ホテル特製ランチを味  
 わった後に、乗り換えた「ア  
 クアライナー」で大阪城の梅

林近くまで送ってもらえる。  
 100品種1270本の梅が  
 植えられている大阪城の梅林  
 は、1月の早咲きから3月の  
 遅咲きまで楽しめることで有  
 名。今年の大河ドラマの舞台、  
 真田幸村ゆかりの地としても  
 押さえておきたいところ。  
 また、同時期には大阪天満  
 宮でも恒例の「てんま天神梅

まつり」が開催される。樹齢  
 200年の古木を始めとする  
 盆梅が参集殿に集まるほか、  
 梅を愛した菅原道真公にちな  
 んで、境内では「梅ノ木餅」  
 や梅に「うめんがいた」ける。  
 期間中の2日間は御神楽や旭  
 堂南陵さんによる講談、西川  
 梅十三さんの日本舞踊など、  
 古典芸能が盛りだくさんの夜  
 間イベントもあり。せっかくな  
 ら、境内や星台池まわりにも  
 植えられた約100本の梅を  
 夜に観てまわるのもオススメ  
 だ。(江口由夏・本誌)

## 梅のシーズン到来 風流に楽しもう



大阪天満宮「てんま天神梅まつり」  
 期間／2月11日(木・祝)～3月13日(日)

## 追手門学院 大阪城スクエアで 近松門左衛門の 第一人者が語る

京阪電車・天満橋駅近くに  
 ある「追手門学院 大阪城スク  
 エア」を会場に、「上町から北  
 摂に広がる近松の世界」の講  
 演が開催される。追手門学院  
 発祥の地でもある上町台地は  
 遺跡が多く、古来から大阪に  
 おける重要拠点として知られ  
 ている。

今回のテーマは近松門左衛  
 門。『曾根崎心中』や『心中天  
 網島』でも知られるとおり、  
 浄瑠璃や歌舞伎の作者として  
 江戸時代初期に活躍した。大  
 坂を舞台にした作品で人気と  
 なり、作中には北新地や中之  
 島界隈の橋も登場する。実は、

第22期

開講4月～11月(全8回)

# 関西市民文化塾

受講生募集中・定員1000名

おかげさまで22年目!  
「大阪市中央公会堂」で開催。  
「生きがいのある豊かな人生のために」をテーマに、  
8回にわたって元気の出るお話をさせていただきます。

第1回 4/23(土)

大阪大学総合学術博物館教授 **橋爪節也**  
「華麗なる歴史  
夢ステージ中央公会堂を探る」

第2回 5/28(土)

大阪大学医学部大学院医学系特任准教授 **日比野佐和子**  
「これだけで…若返りは可能」

第3回 6/19(日)

政治学者 東京大学名誉教授 **姜 尚中**  
「悩む力・心のか」

第4回 7/16(土)

音楽師・作曲家 **東儀秀樹**  
「すべてを否定しない生き方」

第5回 8/20(土)

歌手・俳優 **杉 良太郎**  
「想いのままに…」

第6回 9/10(土)

ジャパンハート代表 医師 **吉岡秀人**  
「いのちの大切さ…『救う力』」

第7回 10/29(土)

京都外国語大学教授 **ジェフ・バーグランド**  
「京都から文化力  
異文化コミュニケーション」

第8回 11/26(土)

医学博士 鎌倉女子大学教授 **木下博勝**  
「家族と健康に勝る宝なし」

●募集人員 1000名(定員に達し次第、締め切らせていただきます) ●会場 大阪市中央公会堂  
●時間 開場12時30分/開演13時30分～15時  
●入塾方法 下記事務局へ「電話、FAX、ハガキ、メール」いずれかで資料(指定振込用紙)を、ご請求ください。 ●入塾金 初めてお申し込みの方(1名)2,000円 ●年間受講料 個人(1名)21,000円/夫婦・親子(2名)34,000円/法人(2名・無記名)54,000円/学生・障がい者の方(1名)13,000円(証明書のコピーが必要です)

資料  
お申し  
込み

関西市民文化塾事務局

☎06-6346-8787

受付時間:平日10時～17時(土・日・祝除く)

ファックス:06-6344-5841(24時間受付)  
メール:bunkajuku@mainichi-ok.co.jp  
ハガキの方:関西市民文化塾事務局  
〒530-8283 大阪市北区梅田3-4-5  
毎日新聞ビル 毎日新聞大阪開発株式会社内  
※上記いずれかの方法で、お申し込みいただいた方に受講生募集の資料・お申し込み用紙をお送りいたします。  
主催:毎日新聞社 後援(予定):MBS・大阪府  
協力:毎日新聞大阪開発、女性と暮らし社



第7回「人形遣い物語」



第8回「服部良一と道頓堀ジャズ・エイジ」

大阪大学21世紀懐徳堂塾  
「OSAKAN CAFE」

会場(共通)/大阪大学中之島センター10F  
※以下、いずれも定員150名・参加無料・要申し込み

第7回「人形遣い物語」

日時/3月19日(土)1:30PM～4:00PM(開場1:00PM)  
出演/吉田義紫郎(人形浄瑠璃文楽座)、中尾薫・荒木基次(大阪大学)

第8回「服部良一と道頓堀ジャズ・エイジ」

日時/3月20日(日)1:30PM～4:00PM(開場1:00PM)  
出演/古川武志(大阪市史料調査会)、輪島裕介(大阪大学)  
申込み方法/ネット:大阪大学21世紀懐徳堂ホームページ  
(http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp)「お申込フォーム」から  
FAX:大阪大学21世紀懐徳堂 社会学連携課(06-6444-2338)に  
名前・フリガナ・電話番号・性別・年齢・返信先FAX番号を記入の上で送信  
問い合わせ/☎06-6444-2137(大阪大学21世紀懐徳堂 社会学連携課)  
※土日祝をのぞく9:00AM～5:00PM

追手門学院大学  
創立50周年記念事業  
「上町から北摂に広がる近松の世界」

日時/2月6日(土)  
1:00PM～3:00PM(開場0:30PM)  
会場/追手門学院 大阪城スクエア(無料)  
問い合わせ・申し込み/☎06-6942-2788  
(追手門学院 大阪城スクエア)

誌) 台本から、近松研究第一人者が大阪に残る近松の足跡をたどる。(江口由夏・本誌)

江戸時代の大坂で誕生した市民のための学問所の精神を受け継ぎ、大阪大学21世紀懐徳堂では大阪の文化や歴史をテーマにした講座を開いてきた。シリーズ講座の「OSAKAN CAFE」は、大阪大学の教員

やその道のプロ、研究者を囲んだ、オープンな雰囲気の中で学べるのが好評だ。その第7弾・8弾が、3月の2日間にわたって規模を拡大して行われる。19日(土)

は「人形遣い」をテーマに、大阪発祥の文楽とアジアの伝統人形劇を比較。また能面と文楽のカシラなど、表情の変化を考察し、写真資料や実物の文楽人形を使ったワークショップから考える。翌日20日(日)のお題は、大正時代の道頓堀で生まれたジャズ文化。当時のミナミは

服部良一が「日本のジャズのパラダイス」と評したほど、ジャズとダンスに熱中していた。そんな大阪ジャズ史・歌謡史をふりかえるほか、レコードコレクターが蓄音器を引っさげてゲストに登場! 受講会場がコンサートホールに早変わりする。(江口由夏・本誌)

## 大阪発祥の文化史を学ぶ 阪大主催のシリーズ講座



「近松門左衛門  
三百五十年」より

出勤前に職場近くのカフェで、お決まりの一杯をテイクアウトする。このルーティーンは、働く島民たちも多く取り入れているはずだ。毎日行う儀式のようなものだからこそ、「これこれ」と一口含む前から安心できる味が素早く出てくるマイシヨップを確保せずにはいられない。

## 安心感を与えてくれる、「マイシヨップ」の幸せ。

「プロント イルバル」 ●カフェ・バー

京阪電車渡辺橋駅に直結し、オフィスが数多く入るフェスティバルタワー地下の「プロントイルバル」は、やはりそういった意味で重宝されているコーヒーチェーン店だ。店長の鈴木健介さんも「常連の方の顔やメニューはすっ



こちらの店舗の限定メニューで、現在は全国設置された「ザ・プレミアム・モルツ《香るプレミアム》」(グラス490円・ジョッキ 590円)には、「パルマ産ホエー豚の生ハム切り落としとパンチェッタ」(520円)が定番。



かき覚えてしまいますね。カウンター越しに手渡すときの、一言二言の貴重なコミュニケーションを大事にしています」と、店名の「プロント(イタリア語で「素早く」)どおり到手際よくメニューを提供しつつ、心得たものである。そして同時に、プロントは「仕事帰りのちよつと一杯」にも応えてくれる。1980年代に国内でセルフ式コーヒーシヨップ誕生の波が訪れ、プロントもまたその最中に登場した。サ

ントリーとUCCの肝入りという特徴は業態に活かされ、昼はコーヒー、夜はビールの二刀流に当時の人々は驚いた。現ロゴマークの太陽と月は、昼も夜も充実したメニューで満足させてくれることを約束。夜からはスタッフの服装や照明も変わり、昼仕様の延長線上でないことがわかる。

「樽生達人店」なのだが、バーメニューが豊富な形態である中之島フェスティバルプラザ店は特に優秀な店舗として認められ、期間限定ビールのモデル店を務めることもある。もはや生活の一部として

いる常連層だけでなく、フェスティバルホールやシヨップイングリ目当てで立ち寄る人々にも頼られていることが、この店舗の使い勝手をさらに向上させていくのだから。



祝祭へようこそ。



<http://festivalplaza.jp/>

提供/株式会社 朝日ビルディング

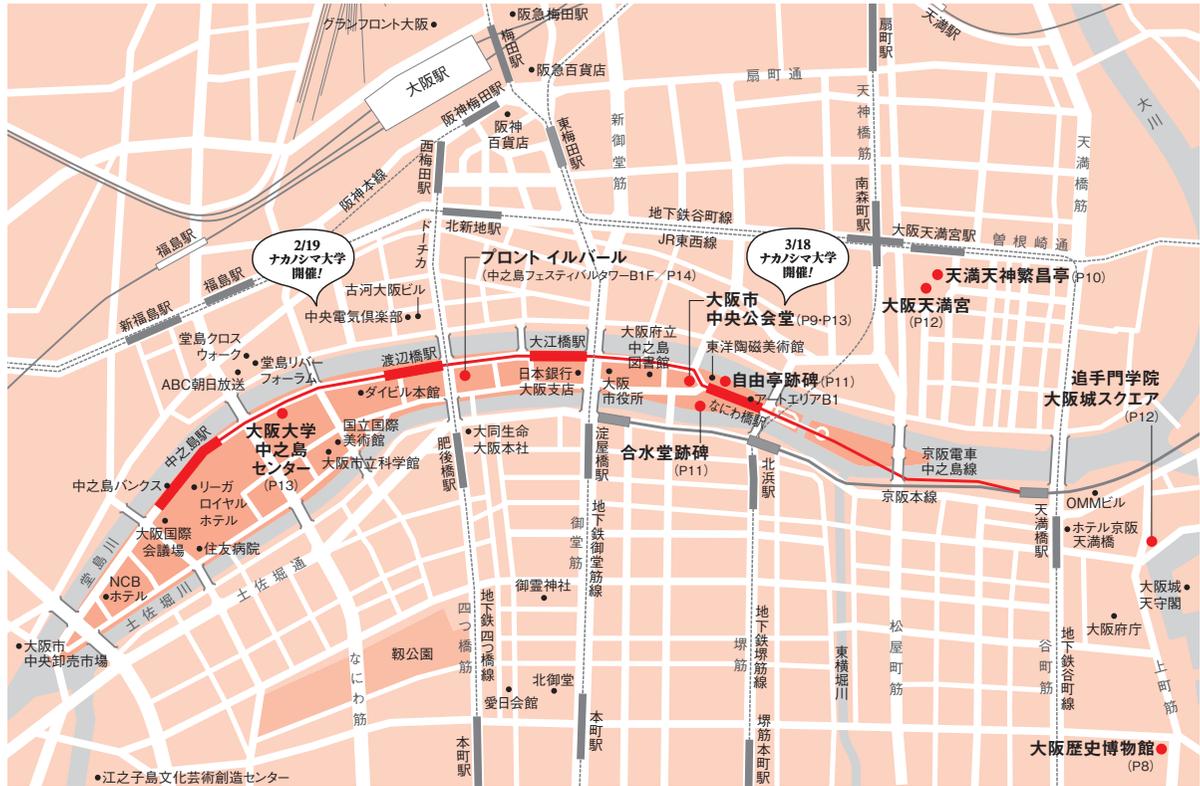


プロント イルバル 中之島フェスティバルプラザ店

●中之島フェスティバルタワーB1F

昼は女性に人気のパスタランチ、夜はサントリーウイスキーの種類が豊富で、一日を通して使い道は自由自在。カウンター席多めのレイアウトはおひとり様が利用しやすい、数名ならコースメニュー(飲み放題付き2,960円〜)の利用もありだ。☎06-4706-5981 カフェ7:00AM〜5:30PM(土曜8:00AM〜、日・祝9:00AM〜) バー5:30PM〜11:00PM(土・日・祝〜10:00PM)

# 大「島民」MAP 橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、みんな「島民」です！



## 『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/テリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店]旭屋書店 梅田地下街店/紀伊國屋書店 梅田本店・グランフロント大阪店・本町店/ジュンク堂書店 大阪本店・梅田ヒルソノプラザ店・天満橋店/MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店 [公共施設・大学関連施設など]アイスボット/朝日カルチャーセンター/味の素 ライブラリー/ABC朝日放送/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市中央公会堂/大阪市立科学館/大阪市立総合生涯学習センター/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪ボランテア協会/大阪歴史博物館/追手門学院大阪城スクエア・大阪梅田サテライト/川の駅はちけんや/関西学院大学大阪梅田キャンパス/慶應大阪シティキャンパス/国立国際美術館/CITY NAIL'Sインターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まい情報センター/少彦神社/中央電気倶楽部/ホテルNCB/メビック扇町/立命館大阪オフィス/龍谷大学大阪梅田キャンパス [店舗・医院など]アンドール 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd/江戸前鯉料理 志津川/天満橋鍼灸整骨院/MJB珈琲店/エルマーズグリーン コーヒーカウンター/大西洋服店/OOO(オー)カセット/喫茶カウンター/喫茶SAWA/グランドコート中之島/黒門さかえ/コマコファ/ The Court/サトウ花店 中之島本店/ザ・メロディ/シアトルベストコーヒー・新聞電ビル店/じろう亭/Giron's JR/心斎橋山田兄弟歯科/住友病院/セブンイレブン大阪証券取引所店/タピエスタイル/たまたが鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャーノ/パストラーレ/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/FOLK/フレイムハウス/ミニジロー/宮崎歯科/やきとりばかや/吉田理容所/LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店]紀伊國屋書店 京橋店/ジュンク堂書店 難波店/福島書店/柳々堂/ループル書店 [店舗・医院など]あしざい/アートアンドクラフト/欧風食堂 ミリパール/大阪シティ信用金庫 江戸堀支店/御舟かもめ/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント社/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワンナ/バルビコ/ホテル64オオサカ/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/Books 呼文堂/水嶋書房 くずはモール店/大阪狭山市立図書館/大阪市立難波市民学習センター/大阪大学企画部広報・社学連携事務局/大阪大学 21世紀楼徳堂/大阪大学本部/摂南大学 地域連携センター/野村呼文堂/郵政考古学会/ゆったりんこ 連携書房 童子
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店/恵文社 一乗寺店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/川のほとりの美術館/納屋工房/タバーン・シンソノ/百練/奈良県立図書館情報館
- 東京 往来堂書店(千駄木)/BOOKSルーエ(吉祥寺)/B&B(下北沢)/隣町珈琲(荏原中延)/ONLY FREE PAPER(渋谷)

## ◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

## ◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

## 次号予告 とよりの五代友厚。

朝ドラで一躍脚光を浴びている偉人といえば、五代友厚だ。  
産業プロデューサー? 稀代の交渉人? 大阪経済の立役者の素顔とは。

●『月刊島民』vol.92は2016年3月1日発行です!

編集・発行人/江弘毅(編集集団140B)  
編集・発行/月刊島民プレス  
若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)  
松本 創 江口由夏 大迫力(編集集団140B)  
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階  
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341  
制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)  
デザイン/山崎慎太郎  
表紙イラスト/奈路道程  
印刷/佐川印刷株式会社

# 京阪のる人、 おけいはん。

駅から祇園に  
おさんぽです。

祇園四条駅下車「祇園樂橋界隈」  
出町柳けい子



[www.okeihan.net](http://www.okeihan.net)

沿達おけいはん 検索  

月刊島民 中之島 Vol.91号 2016年2月1日発行 編集・発行人/江弘毅(140B) 編集・発行/月刊島民プレス 〒5300004大阪府北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 定価0円 Printed in Japan